

「英語研修参加報告書」

京都大学文学部3年 山村 高代

今回のプログラムは、ハワイ大学マノア校のサマープログラム、NICEに参加するというものでした。3週間という短い期間でしたが、学べたことは多くありました。本来の目的である英語学習だけでなく、ハワイの地の文化を肌で体験することができたことは、日本の文化だけを見て育った私が視野を広げるきっかけになりました。そしてプログラムを通して、京都で大学生活を送っているだけでは出会えなかった人々に出会えたことは今後の交流も含めて貴重な財産になると思います。

英語学習という面では、リスニングの強化、そして自ら発言する勇気と、もっと英語を学ぼうという意欲を得ることができました。NICEでは、一クラス15人ほどのクラスで会話、ディベートなどが中心の英語の授業が展開されます。すべて英語、アメリカンなスタイルで行われる授業は、先生がどんどん生徒に意見を求め、生徒側も指名されなくても自主的に発言していきます。自分の意見が言えないようではどんどん置いて行かれてしまうのです。初めの一週間、もともと自分に自信がなく、日本でも授業やゼミなどで積極的に発言するタイプではなかった私は、まして拙い英語で自ら発言する勇気が出せず苦しい思いをしました。しかし、二週目、三週目と過ごし、クラスメイトやホストファミリーとの会話を通して英語にも慣れてくるにつれ少しずつではありますが自ら意見を述べるできるようになりました。これは現地で英語を使う環境にないと身につかなかった勇気だと思います。そして同時に、自分のスピーキングの未熟さを理解しました。私は中学生の頃にも一度アメリカでホームステイしたことがありますが、その時は聞くこともできなければ話すこともできない状態でした。それから6年。今回の渡航では、会話する上で相手の話すことはほぼ理解できました。しかし、自分で言いたいことを言おうとすると、頭が真っ白になって言葉が出てこないのです。聞くことも話すこともできなかった頃よりも、相手の言うことが理解できる分、さらにもどかしく思いました。日本で勉強しているときは、ある程度聞くことはできるし文章も書けるのだから、話そうと思えば話せるだろうという甘い考えがありましたが、実際話そうとしてみるとその甘さは通用しませんでした。この3週間を通して身についた英語の力もちろんありますが、一方で言いたいことを伝えられないもどかしさ、悔しさも体験しました。これをバネに日本に帰ってからも英語の勉強を続け、特に今まで触れてこなかったスピーキングも強化していこうという強い気持ちが生まれました。

そして、文化的な面では、何より新鮮さと驚きを感じました。ハワイ文化は今まで触れてきたアジア文化、西洋文化とも違い独特でした。NICEではEducation Activityとしてクラス全員で博物館やダウンタウンの史跡巡りをし、フラダンスの講習では振付のみならず、フラの精神も学びました。原住民であるポリネシアンの文化、特に自然の物一つ一つに神が宿っているという宗教観は日本の八百万の神という概念と類似しており非常に興味深く感じました。ハワイ大学の学生と交流するインターチェンジの機会は週に2日あり、同世代の学生とお互いの文化を紹介しあい、相違点や共通点を楽しむことができました。また、ハワイは様々な国からの移民が定着しており、それぞれの文化が混ざり合い、また共存している環境が新鮮でした。日系人も想像以上に多く、選挙の候補者の殆どは日本姓だったことには驚きました。また、ホストファミリーはフィリピン系だったので、アメリカにしながら料理などの面でまた新たな文化に触れることができました。

最後に、出会いという面について述べたいと思います。私のいたクラスは日本人14名、台湾人1名という構成でしたが、高校生、大学生、専門学校生、社会人とそれぞれの肩書も年齢も出身地も違う、しかしNICEで学ぶという志を持った人々が集結していました。一人一人が個性的で、その中で有意義な時間を過ごすことができました。海外の友人ができたことに加え、日本の大学生でも、自分とは今まで関わりのなかった関東の大学などに所属する皆と、同世代ならではの夢や目標、悩みなどを語り合うことができ、大きな夢も無く、ただ漠然と大学で

2年半を過ごしてしまった自分の今を見つめなおすことができました。また、3週間お世話になったホストファミリーは、ホストファミリーとして生徒の受け入れをするのが初めての家庭だったそうで、最後に「次から来てくれる生徒もあなたたちのような子だったらいいなあ。」と言ってくれました。大きな夢がなかった私ですが、ハワイで出会ったクラスメイト、先生、そしてホストファミリーとまたいつか会いたいという夢ができました。そしてその時は、もっと自分に自信を持ち、もちろん英語での会話もすらすらできるような自分で居たい、そのためにも意志と意欲を持って日々の学習に励もうと今は心に決めています。